


外国クルーズ客船寄港による福岡市経済への波及効果等調査概要

問合せ先:【本件全般・経済効果・観光関係】福岡市経済振興局集客交流部(TEL092-711-4353) 不動寺、村上、吉田
 【寄港情報・誘致関係】港湾局港湾振興部振興課(TEL092-282-7110) 古賀、鈴木

◇中国発着外国クルーズ客船寄港状況

- ◆平成21年の中国発着外国クルーズ客船は、博多港へ**24回**寄港。
- ◆**約29,300人**の乗客が来福。乗客の8割が中国人。
- ◆着岸後は、ショッピング等市内・近郊観光。
- ◆平成22年は**66回**の寄港を予定。

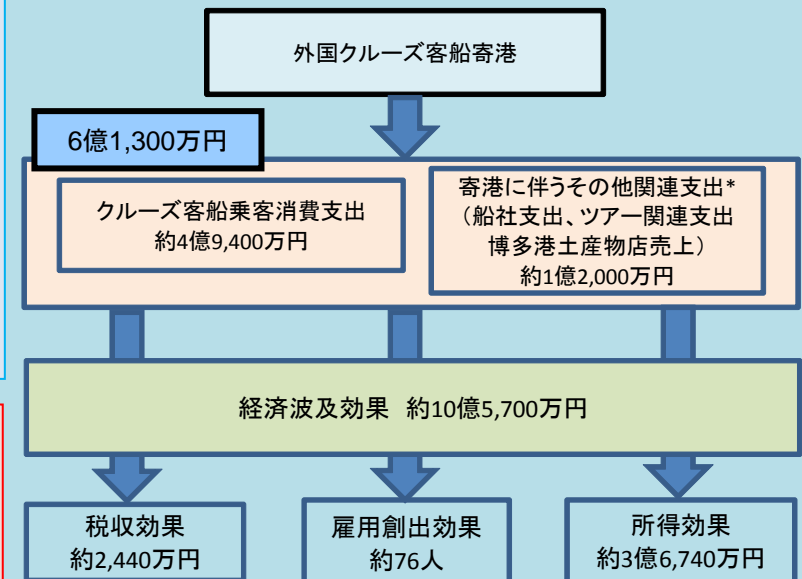
外国クルーズ客船寄港状況(平成21年)	
レジェンド・オブ・ザ・シーズ号(2,074名,7万t): 1回	
コスタクラシカ号(1,766名,5万t): 16回	
コスタアレグラ号(1,072名,3万t): 7回	
福岡市以外の寄港地	天津、上海、釜山、濟州島、長崎、鹿児島
主な乗客の国籍	中国、欧米、インドなど

◆寄港の一日のスケジュール(コスタクルーズ団体ツアーの例)
 8:00博多港に着岸 → 8:30下船開始 → 観光バスで団体ツアー実施(九州国立博物館→太宰府天満宮→昼食→福岡タワー→天神でショッピング(2.5時間程度)) → 17:00帰船 → 18:00博多港から離岸



◇平成21年(24回寄港)経済波及効果:約10億5,700万円

- 【経済波及効果内訳】
 ○直接効果 6億1,300万円、一次間接効果 2億1,600万円、二次間接効果 2億2,700万円
 ○消費による効果 8億5,000万円…**全体の8割**
 関連支出(船社・ツアー支出等)による効果 2億700万円…**全体の2割**
- 【その他の効果】
 ○所得効果 **3億6,700万円 増加**
 ○雇用創出効果 **76人 創出**
 ○税收効果 **2,440万円 増加**



- ◆一寄港あたりの経済波及効果
 ○経済波及効果 **4,400万円**
 直接効果 2,560万円、一次間接効果 900万円、二次間接効果950万円
 ○所得効果 **1,530万円 増加** ○雇用創出効果 **3人 創出**
 ○税收効果 **101.7万円 増加**

◆産業部門別経済波及効果(平成21年)

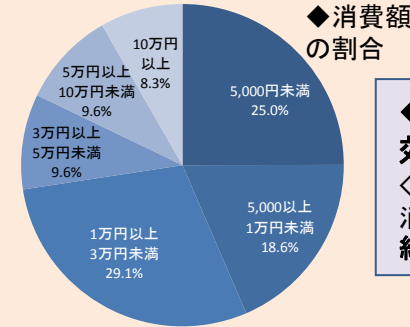
○「商業部門」「対事業所サービス部門」「運輸部門」への波及が大きい。
 経済波及効果:「商業部門」4億4,779万円、「対事業所サービス部門」1億685万円、「運輸部門」1億642万円、その他 3億9597万円
 雇用創出効果:「商業部門」43人、「対事業所サービス部門」9人、「運輸部門」6人、その他 18人

◇調査概要(調査機関:九州経済調査協会)

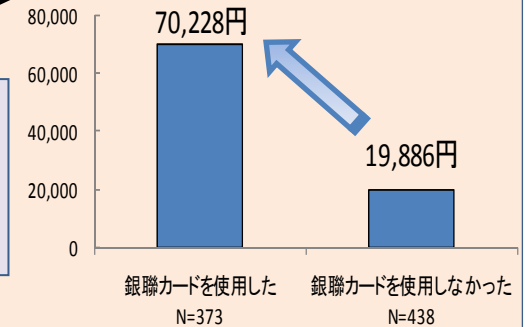
- ◆消費額・その他関連支出の算出
 ・アンケート調査(サンプル数:1,122人)より乗客一人あたりの平均消費額を算出。平均消費額×年間乗客数により、年間消費額を算出
 ・ヒアリング等をもとに、寄港に伴うその他関連支出(福岡市ツアー関連支出や船社支出、博多港土産物店売上など)を算出。年間寄港回数24回を乗じて、年間額を推計。
- ◆経済波及効果の推計方法
 ・上記の年間支出をもとに福岡市産業連関表(平成12年表)を用いて、経済波及効果を推計。併せて、所得効果、雇用創出効果等についても推計。
- ◆福岡市内観光についての満足度をアンケート調査

◇消費動向

- ◆乗客一人あたり平均消費金額…**約3万3千円**
- ◆乗客の消費金額の高い順に、「電化製品」、「化粧品・医薬品」、「食料品」

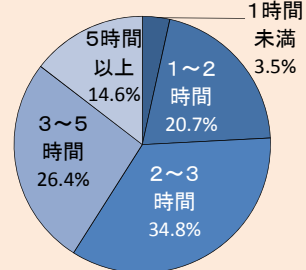


◆銀聯カードによる消費促進効果
 ◇銀聯カードを使用した人の平均消費金額…使用しなかった人の**約3.5倍** ※現金との併用を含む



◇観光動向

- ◆ショッピング
 ○乗客の75%が**2時間以上**の買い物時間を望む



- ◆観光ニーズ
 ○福岡市内でしたいこと
 1位 ショッピング(48%)
 2位 日本文化(茶道など)の体験(34%)
 3位 和食・名物料理などのグルメ体験(34%)

- ◆ツアー満足度
 ○80%以上が観光対応を「良かった」と回答
 ○約70%が入管等の手続きを「良かった」と回答
 ○25%が商業施設での外国語対応を「悪かった」と回答

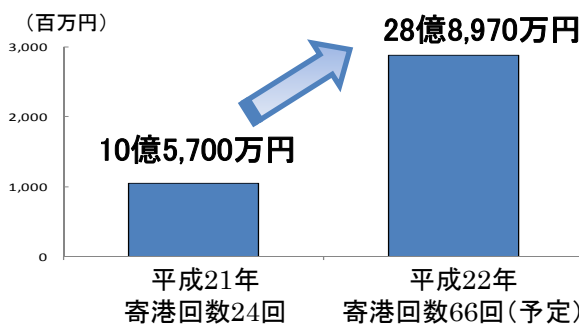
- ◆買い物場所
 ○乗客の買い物場所は多い順に、「百貨店」、「スーパー」、「家電量販店」

- ◆お土産
 ○乗客に人気の高い日本のお土産は、「日本の食品」、「日本製電気製品」、「化粧品」など。

◇考察～今後に向けて

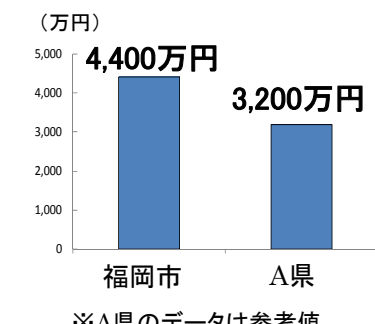
◆平成22年の経済波及効果は**28億8,970万円**と推計

・今年の効果も他都市と比べて大きい(長崎12.4億(62回)、沖縄16.5億(102回))
 ・来年(66回程度)の経済効果は、29億弱と推計。一層のクルーズ客船の誘致が必要



◆一寄港当たりの経済波及効果に優位性

・福岡市の一寄港あたりの波及効果は、他寄港地A県の約**1.4倍**と大きい



◆短時間で高い消費効果だが、回遊性の向上に課題

・消費金額:2時間前後のショッピング時間で、全国平均(中国人ツアー客)の約**1.6倍**
 ・消費額向上のためには、都市回遊性(滞在時間の増、立寄場所の増)が課題
 ・外国語対応の充実や銀聯カードの設置等買い物環境の改善が必要

